

2016年度 第2回郡山市総合教育会議 議事録

【日時】平成28年11月18日(金) 午後3時30分～午後4時30分

【会場】郡山市役所秘書課 第二応接室

【次第】1 開会

2 市長あいさつ

3 協議事項

(1) 学び育む子どもたちの未来について(こども政策全般)
～市民会議「あすまち会議こおりやま」での意見を受けて～

(2) 部活動のあり方について

(3) その他

4 閉会

【出席者】6名(敬称略)

郡山市長	品川 萬里
教育委員会委員長	阿部 亜巳
同委員長職務代理者	阿部 晃造
同 委員	太田 宏
同 委員	藤田 浩志
同 教育長	小野 義明

【事務局】18名

政策開発部長	濱田 守
政策開発課長	羽田 康浩
政策開発課政策推進係長	齋藤 健一
教育総務部次長兼総務課長	畠中 秀樹
総務課総務管理係長	古川 誠
学校教育部長	柳沼 文俊
学校教育部次長	渡辺 伸市
学校管理課主幹兼管理主事	小山 健幸
学校管理課主幹兼管理主事	安田 良一
学校管理課指導主事	二瓶 元嘉
学校教育推進課長	原 真児
学校教育推進課主幹兼指導主事	早崎 保夫
教育研修センター所長	村上 文生
総合教育支援センター	大和田 正恵
こども部長	佐々木 修平

こども部参事兼こども未来課長	塚原 馨
こども支援課長	滝田 昌宏
こども部次長兼こども育成課長	伊藤 綾子

【議事】

1 開会

2 市長あいさつ

【品川市長】本日の協議事項として、政策開発部が中心となって「まちづくり基本方針」について市民の意見を伺っているが、特にその中でも教育・子育て関係についてどのような意見が出たかご覧いただき、委員の皆様にもご議論いただきたい。それから部活動については、新聞やテレビ等でも色々な問題が取りざたされているので、様々な観点から皆様のご意見をお伺いしたい。それから情報提供として、学校の開設時と現在の児童生徒数の比較をデータとしてお示しさせていただいている。学校統合ではなく、私は校区再編の議論が必要ではないかと思っており、保護者の皆さんのお考えや市の財政的な面など多方面からの議論が必要と認識している。それでは、次第に則って議題を進めて行きたい。

3 協議事項

(1) 学び育む子どもたちの未来について(こども政策全般)

【政策開発部長】(配布資料に基づき概要説明)

現在、2018(平成 30)年度から始まる新たなまちづくり基本指針策定に向けて取り組んでいる。策定にあたっては市民が望む「あるべき将来像」を描き、そこからバックキャストして具体的な取り組みを構築したいと考えており、様々な機会で市民の皆様のご意見をお伺いする機会を設けている。先般開催した「あすまち会議こおりやま」については無作為抽出した 3,000 名の市民から 72 名のご参加をいただき、5 つの分野別ワークショップ等により議論を進めてきた。本日はその第 3 回目を実施した「学び育む子どもたちの未来」の結果を踏まえ委員の皆様からご意見をいただきたい。

【品川市長】こういった議論の成果をどうやって指針に反映させていくかが課題となってくるが、非常に面白い意見のまとめ方だと思う。会場の様子も堅苦しくなく非常に活発な議論がされていたのが印象的だった。委員の皆様からのご意見もお伺いしたい。

- 【阿部委員長】 ループ図を拝見して、市民の皆さんの率直な意見を見ることができ、やはり教育や子育てについて高い関心があるのかなという印象を受けた。特に、例えば「天才が生まれるまち」という表現に至る議論の経緯を詳しく聞いてみたいと思う。天才という言葉の感じ方も人それぞれだと思うが、教育というのは優秀な人材を作ることだけが目的ではないので、この「天才」という表現をもう少し噛み砕いて伝えないと誤解が生じてしまうかもしれない。
- 【藤田委員】 個人の得意とすること、長所を伸ばすという教育、それが結果的に伸び伸びと学べるということに繋がるのだと思う。そういった意味では、委員長の発言にもあったとおり、経緯をもう少し詳しく教えていただければ、委員会の方でも議論できるのではないか。
- 【太田委員】 教育というものは生活に密着することが大事だと思う。多世代の方が学ぶことができるためにはどうすればいいのか。また具体的に何をすればいいのかという議論を総論と各論に分ける必要があると感じている。
- 【品川市長】 今回の市民会議では、例えば「笑顔」「夢」「楽しく学ぶ」などという市民の生の言葉がちりばめられているのが特徴ではないかと思う。「天才」という言葉についても、その受け取り方は確かに人それぞれ。私は勉強だけではなく、ある分野に突出した異端児のような人を指すのかも知れないと感じている。
- 【藤田委員】 例えば、今回の議論で出た項目が、現在の市の施策で該当するものがあるかどうか、不足している分野が無いかどうかを整理検証すれば新たな事業、具体的なロードマップが描けるのではないか。
- 【品川市長】 例えば、こういったことを中学生や先生方などそれぞれのグループングで実施してはどうか。ぜひ一つの手法として参考にさせていただきたい。

(2)部活動のあり方について

- 【品川市長】 参考として新聞記事を配布させていただいた。これが全ての論調ではないが色々な視点から議論できればと思っている。併せて、前回の会議でもお配りしたが、中学校の部活動所属生徒数一覧をお配りしている。こちらについては教育長から説明をお願いしたい。
- 【小野教育長】 こちらの表は複数の部活動に所属している生徒もいるため、延べ人数になっている。運動部は男女合わせて 32、文化部は 20 の合計 52 の部活があり、全体で 10,698 人の生徒が部活動に参加している。新聞記事などでも部活動は話題になっているが、顧問の先生方はやはり子どもたちに少しでも良い成果を出して欲しいと思っているし、保護者の思いも同様となっている。一方、部活動休養日に関するリーフレットを教職員に配布しており、週に 1 回は部活動の休養日を設定するようにしている。なお、部活動も含めた児童生徒の好ましい成長のあり方について、関係団体とも連携しながら検討を進めている状況である。

【品川市長】部活動について、市長部局でできることがあれば教えていただきたい。それから合奏、ブラスバンドはやはり女子生徒が多いように見受けられるがそういった傾向はやはりあるのか？

【小野教育長】たしかに男子生徒は0ではないが少ない傾向にある。興味関心が無いわけではないだろうが、どうしても男子生徒は運動部を選んでしまう傾向が昔から続いている。文科系の部活動に入る男子生徒は小学生の頃から続けているような生徒が多いようである。

【太田委員】医学的な見地で整形外科の先生が危惧しているのは、中学生までの運動によりひじやひざがダメになってしまう傾向がある。むしろその年代までは遊び程度にやっていて、18歳以降に本格的なトレーニングを受けた選手が大成するような事例も多く見られる。中学生については全体として過度のトレーニングをさせないよという指導が必要であると考えている。良い選手がこれからというタイミングでつぶれてしまうのは非常に惜しい。

【品川市長】例えばスポーツ医学の先生の話聞く機会を設けるといいかも知れない。

【太田委員】指導者の皆さん向けにやってはいるようだ。

【小野教育長】教育委員会としては福島大学の川本先生に講師を依頼して、平成26年度からコーチングスキルアップ研修会を体育の先生や部活動の指導者向けに実施しており、過度の練習ではなく目的意識を持った練習の仕方について指導をしている。メンタル面も含めてコーチングスキルを向上させているので、この中で医学的な見地からのお話もできるのではないかと考えている。

【藤田委員】必ず年齢や競技種目に応じたトレーニングメソッドがあるので、郡山メソッドのような形で普及できればいいのではないか。こういったマニュアルの普及が生徒や指導者の負担を減らすことにも繋がる。

【品川市長】保護者も含めて意識啓発が必要。

【阿部委員長】もちろん良い成績を目指すことは重要ではあるが、あまりにも結果に重きをおくと過度の練習に繋がっていくのだと思う。部活動に限らず教育全般に言えることだが、結果は後からついてくるものであり、そこに至る過程で一人ひとりがベストを尽くし、何を学んだかが大事であると思う。その結果と過程のバランスをとることは生徒には難しいところなので、学校あるいは行政側がしっかりと見てあげるべき。

【藤田委員】それぞれの分野のプロはやはり憧れの存在だと思うので、例えば裁縫のプロや一流シェフなどに来ていただくのもいいのではないか。また、先日福島ホープスの選手と話をしたが、シーズンオフは給料が出ないとの話だった。例えば、オフの期間に生徒の指導をしていただければ選手にも生徒にもメリットがあるのではないか。

【阿部職務代理者】やはり先生は忙しすぎると思うので、誰かがコーチしてくれればそれに越したことはない。能代工業高校のバスケットの事例もあるが、生活全てを部活に費やすような姿勢を中学生に求めるのは行き過ぎであると思う。また、保護者も土日は部活動の応援に行くことが多くなっているようである

し、やはり何かルールを整備する必要はあるのではないかと思います。

(3)その他

【品川市長】児童生徒数の増減について、特に現校舎の完成が最近の学校についての資料をお配りしている。生徒数が増えた学校については教育長と一回り視察をしたところであるが、もっと校舎の有効活用を考えていく必要がある。市民の皆さんにも協力いただくコミュニティスクールなど、市民参加型で考えて行きたい。学校施設は公共施設に占める割合も高いので、ファシリティマネジメントの観点からも、生徒数が減少している学校などを見ていただき、委員の皆さんからのご意見をいただきたい。それから学校のトイレも最近話題になっている。先生方の意見も集約して議論を進めていければいい。その他、なにかご意見等ありますか？

【特に意見なし】

【品川市長】教育委員会として何か要望などする際には我々も援護したい。中核市の教育委員会会議などのご意見も尊重したいので色々ともたご意見をいただけるとありがたい。そろそろお時間なので本日は以上といたします。

閉会